

種目名	道徳	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	光村図書出版
-----	----	---------	-----	--------	--	---------	--------

発行者 観 点		東京書籍	教育出版	光村図書
1 学習指導要領との関連		・学びの方法「気づく」「考える」「広げる・深める」の流れが、学習指導要領に示されている、考えを深め、判断し、表現する力を育むことに役立つよう工夫されている。	・「学びの手引き」を通して、学習のねらいを明確にし、体験的な学習や問題解決的な学習、発展的な学習など、多様な学びに展開できるよう工夫されている。	・読み物教材だけでなく、日常場面や児童の経験などをもとに道徳的価値について話し合うことができる教材も取り扱われており、主体的にかつより深く考えられるよう工夫されている。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		・いじめの防止に重点が置かれており、場面を直接的に扱ったり、関連する価値から間接的に考えさせたりするなど工夫がされている。	・人の生き方を取り上げた教材を通して、児童が共生の精神をもち、社会に貢献する意欲や態度を養うことができるよう工夫されている。	・「いじめ問題」「情報モラル」等の現代的な課題には、教材とコラムで構成されたユニットで学べるようになっており、複数時間かけて児童がじっくり考えられるようになっている。
3 内 容	(1) 内容の選択	・いじめや情報モラル、SDG s などの現代的な課題を取り上げた教材を適切に採用している。また、定番の教材は挿絵等を刷新し、新鮮味を与え、児童の興味・関心を引きつけるものとなっている。	・生命の尊厳や情報モラル以外にも、いじめや自然環境など多種多様な課題を通して現代的な教材を取り上げ、発達段階に応じて深められるよう選択されている。	・1年を通して様々な切り口の教材に出会えるようになっており、教材の配列に対するきめ細かな配慮がされている。各校のカリキュラムに応じて、アレンジすることも可能である。
	(2) 内容の程度	・発達段階に応じた文量意識がされている。また、文章のみとならぬようイラストや漫画などを配置し、親しみやすいものとなっている。	・役割演技やモラルスキルトレーニングを取り入れ、発達段階に応じて多面的・多角的な見方や考え方ができるよう配慮されている。	・巻頭や巻末に学び方や話し合いのこつなどが示され、学びの土台が作れるように配慮されている。話し合いを通して多様な価値観に触れ、多面的・多角的な見方や考え方ができるようになっている。
	(3) 内容の構成	・発展的な学習になるように、教材ごとに「つながる 広がる」を設け、自らの生き方や生活に置き換えて考えられるようになっている。巻末には「考えるためのツール」があり、6年を通じた指針が示されている。	・巻末に「学習の振り返り」のページが掲載され、学期毎や一年間の自分自身の成長について考えられるよう構成されている。また、切り取り式のシートになっており、蓄積できるよう工夫されている。	・児童から考えを引き出して深めていく様々な手立てを「考えるヒント」のページで示している。巻末に1時間ごとに振り返りを記録する「学びの記録」があり、学年に応じた振り返り方ができるように配慮されている。
4 表記・表現及び使用上の便宜等		・全ての教材にQRコードが用意されており、朗読音声、スライドショー、デジタルノートが使用できる。多様な児童に対応できるよう準備されている。	・巻頭に「学び方」や「学習の広げ方」を掲載し、児童が主体的に学習できるよう工夫されている。目次に、内容ごとのマーク表示や関連する教材を色分けする等、視覚的に判別できるよう配慮されている。	・どの教材も1時間の学びの構成が捉えやすくなっており、児童が見通しをもって学ぶことができる。挿絵の画風が温かい印象を受ける。
5 印刷・造本等		・AB判を採用し、読みやすくゆったりとしたレイアウトになっている。余白も2cmと平均的なものになっている。見やすく読み間違えにくいフォントが採用されている。	・紙面は十分な余白があり、ゆったりとしたレイアウトとなっている。AB判。行間を広くし、可読性の高いフォントを使用するなど読みやすいよう配慮されている。	・B5変型判を採用しており、机上で収まりのよいサイズの教科書である。フォントやデザインにおいても、読みやすく使いやすい。

発行者 観 点		日本文教出版	光文書院	Gakken
1 学習指導要領との関連		・教材末の「学習の手引き」には、児童が様々な物事を見つめ、多面的・多角的に考え、道徳的価値について自分自身の考えを深めていけるよう工夫されている。	・各教材の冒頭に「導入」、末尾に「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」が設置され、授業の目的や流れが明確になっている。	・多岐にわたる豊富なテーマを取り扱い、現代的課題に対して児童の意欲・関心を高め、主体的に考え、議論することができるような工夫がされている。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		・自己の生き方についての考えを深める多種多様な教材を掲載しており、自ら高め、その力をこれからの社会に生かしていけるよう配慮されている。	・子ども自身が「なりたい自分」をイメージできるようにするために、オリエンテーションの中で、育てたい4つの観点が提示されている。	・人としての在り方・生き方を考えさせられるよう、教材を自分事として捉えやすくするための工夫や配慮がされている。
3 内 容	(1) 内容の選択	・児童の発達段階を踏まえ、内容項目がバランスよく配置されている。現代的な課題はいじめや情報モラルなど、多様な教材を選択されている。	・幅広い知識と教養を身につけるため、クラスや学校生活など、自分事として考えやすい教材が用意されている。	・生命の尊さ、いじめ、情報モラル、世界で活躍する人物など、現代的課題について取り上げた教材をバランスよく配置している。
	(2) 内容の程度	・役割演技や動作化など、体験的な学習を設けることで、一つの考え方に偏らず、多面的・多角的に考えながら道徳的価値についての考えを深められるよう配慮されている。	・多面的・多角的に考えを深めることができるように、発達段階に応じた思考ツールの活用方法が掲載されており、考えを視覚化することに役立つ。	・身近な話題を取り上げた教材が多く、自分事として捉えやすく、自己を見つめ、多面的・多角的に考えたり話し合ったりしやすくなっている。
	(3) 内容の構成	・別冊「道徳のノート」は、毎時間同じ構成で記録を残すことで自分の成長を継続的に実感できるよう工夫されていたり、保護者記入欄を設けて、家庭との連携が図れるよう配慮されていたりしている。	・「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「スポーツ」といった現代的な課題を扱った教材が、発達段階を考慮しながら全学年に掲載されている。	・教材からつなげて考えを深められるよう「心のパスポート」を配置してあり、自己の生き方について主体的に考えていくことができるようになっている。
4 表記・表現及び使用上の便宜等		・巻頭の「学び方」は、写真を効果的に使用しており、学習の視点を視覚的に捉えることができるよう配慮されている。	・「かんがえよう」が大きく表記され、見やすくわかりやすいよう配慮されている。1～3年生は総ふりがなになっている。	・挿絵や写真、マークなどの色合いが鮮やかで、視認しやすく、児童が読みたくなるような紙面の工夫がされている。
5 印刷・造本等		・AB判を採用し、挿絵や写真、図を大きく掲載している。また、全教材が見開きで構成されており、学習しやすい造りとなっている。視認性の高いフォントで読みやすい。	・AB判で、余白を最小限にして紙面を有効活用している。フォントも読みやすい。	・AB判でゆったりとした紙面構成になっている。行間も十分にあり、児童にとって読みやすい。フォントも読みやすく配慮されている。